

**特記事項
(工事概要)**

- 既設の空調設備を撤去の上、機器の新設を行う。
- ※更新箇所は図示による
- 上記に伴う機械設備工事

(施工条件)

- 契約締結後速やかに詳細な工程を調整の上決定すること。
- 作業着手までの期間に調査及び、施工計画書等を作成し、市監督員の承諾を得ること。
- 作業着手までの施設内調査は、事前に市監督員の承諾を得るものとし、施設運営に影響を与えない範囲とする。
- 工事期間中も施設を利用するため、安全対策には十分配慮すること。なお、内部作業については、施設運営に支障をきたさないよう監督員、施設管理者と打合せをし、工事の日程を決めること。
- 大型車両の出入りの際には誘導員を配置すること。
- 作業着手前には、現況状況把握の為に破損箇所等あれば、写真に記録しておくこと。また、工事過程に於いて既設施設に破損等を与えた場合は、受注者の負担に於いて速やかに復旧すると共に市監督員に報告をすること。
- 設計書に明記なくとも機能上及び構造上当然必要と認められるもの並びに、取合いのはつり補修復旧は本工事に含む。なお、内訳書の数量は参考とし、当図面を優先する。
- 工事用水、電力については既存の施設を無償で利用できる。但し、施設運営に影響しないよう事前に打合せのうえ計画し施工すること。
- 工事用車両及び工事関係車両は、周辺道路に駐車しないこと。

(解体撤去処分)

- 本工事により発生する廃材は、産業廃棄物となるため関係法令により適切に処理すること。
- また、工事着手前に、施工方法を記した施工計画書を市監督員に提出し承諾を得ること。
- 工事完了後、マニフェストA、B2、D票を市監督員に提示すること。
- 当該工事を施工するに当たって施工時にフロン類の充填、回収作業を伴う場合は、フロン類の使用的合理化及び管理の適正化に関する法律(平成27年4月1日施行)等の関係法令を遵守し、第1種フロン類充填回収登録業者が行うこと。

図面及び特記仕様書に記載されていない事項は、以下による

国土交通省大臣官房官房企画部監修

「公共建築工事標準仕様書(建築、電気、機械設備工事編) 平成31年版」

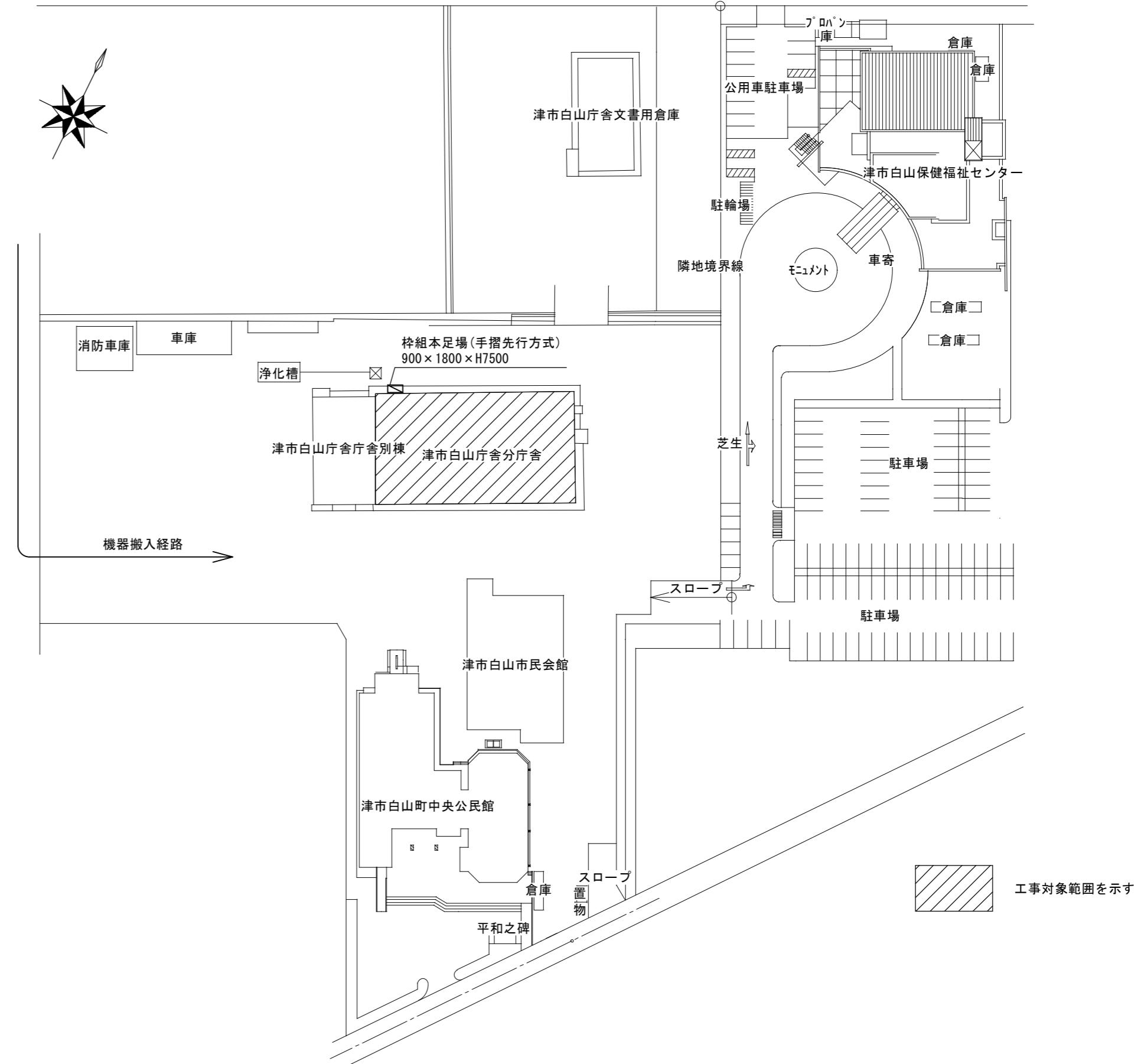
「公共建築改修工事標準仕様書(建築、電気、機械設備工事編) 平成31年版」

「公共建築設備工事標準図(電気、機械設備工事編) 平成31年版」

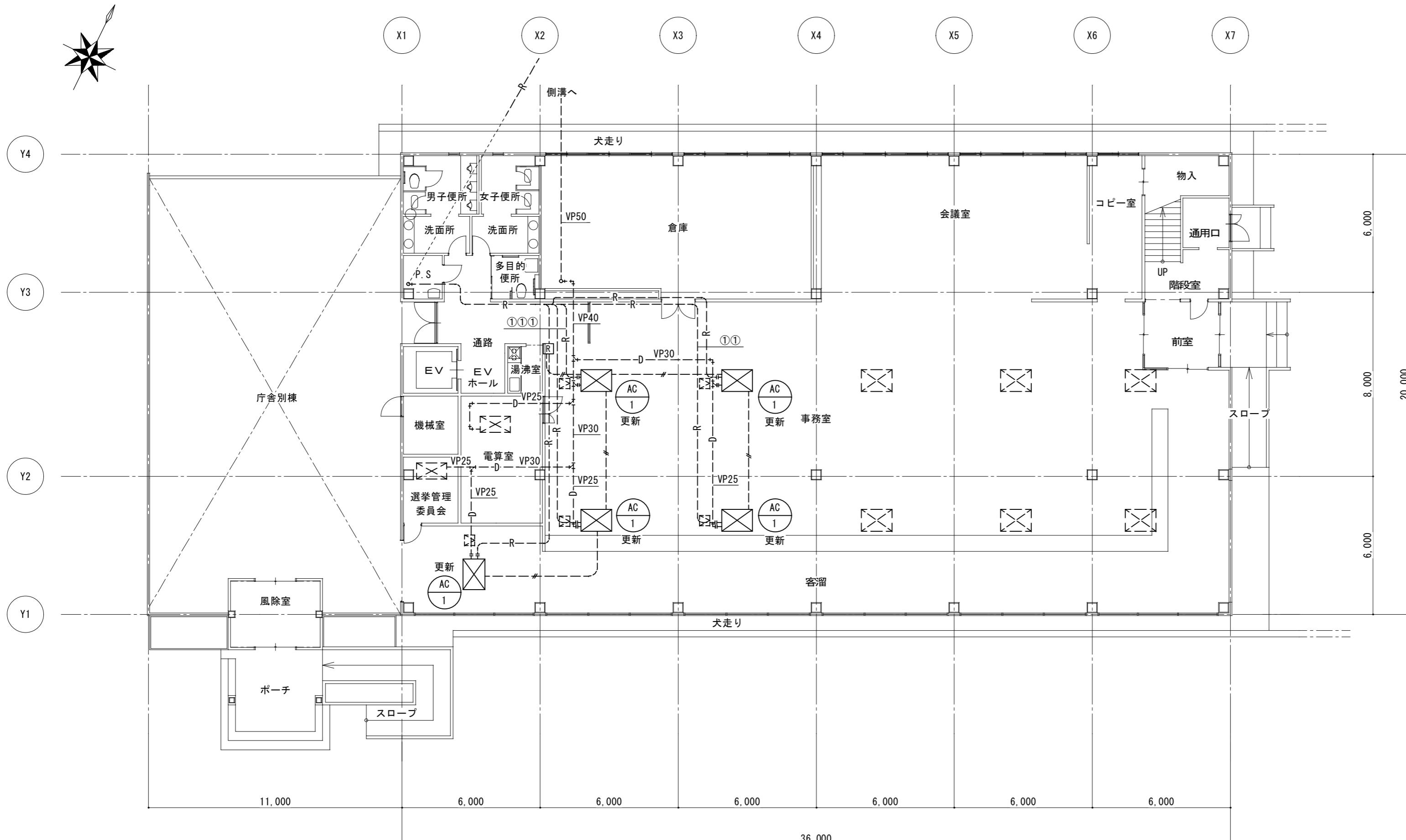
「建築、電気、機械設備工事監理指針令和元年版」

独立行政法人 建築研究所監修

「建築設備耐震設計・施工指針2014年版」



| | | |
|----------------|--------------|-------------|
| 津市白山庁舎空調設備改修工事 | | 縮尺 1/800 |
| 図面名称 | 位置図・配置図・特記事項 | 原図: A 2 |
| 津市建設部營繕課 | | No. 1/3 |



1階平面図 S=1/150

| 空調機器表（撤去） | | | |
|-----------|----------------------------|---|----|
| 記号 | 形式・名称 | 仕様 | 台数 |
| AC-1 | ビルマルチ用エアコン 室外機 | 冷房能力：56.0kW 喧房能力：63.0kW 3相200v 機器型番：RSLYJ560K(ダイキン製) | 1 |
| AC-1 | ビル用マルチエアコン 室内機（天カセ形4方向） | 冷房能力：11.2kW 喧房能力：12.5kW 単相200v | 5 |
| | | | |

| 空調機器表（新設） 空冷ヒートポンプ式 | | | |
|---------------------|----------------------------|--|----|
| 記号 | 形式・名称 | 仕様 | 台数 |
| AC-1 | ビル用マルチエアコン 室外機（更新用） | 冷房能力：56.0kW 喧房能力：63.0kW 3相200v | 1 |
| | | 室外機基礎：既製RC基礎（L=500） | |
| AC-1 | ビル用マルチエアコン 室内機（天カセ形4方向） | 冷房能力：11.2kW 喧房能力：12.5kW 単相200v 標準パネル、リニューアルパネル、他付属品共 | 5 |
| R | ワイヤードリモコン | | 1 |

特記事項
 1. グリーン購入法調達基準適合商品とすること。
 2. 室外機には転倒防止金物を設置すること。
 3. 機器の製作仕様は国土交通省仕様とする。
 ただし該当しない機器については製造者標準仕様による。
 4. 室内外機取替に伴い、既設ドレン管、冷媒管、電源及び制御線の切断接続を行うこと。
 また、配線配管等の最低限の更新を見込むこと。

※保温仕様は以下とする。

ドレン管 屋内一般：GW保温筒+アルミガラスクロス
冷媒管 屋外露出：ポリスチレン+SUSラッキング仕上げ

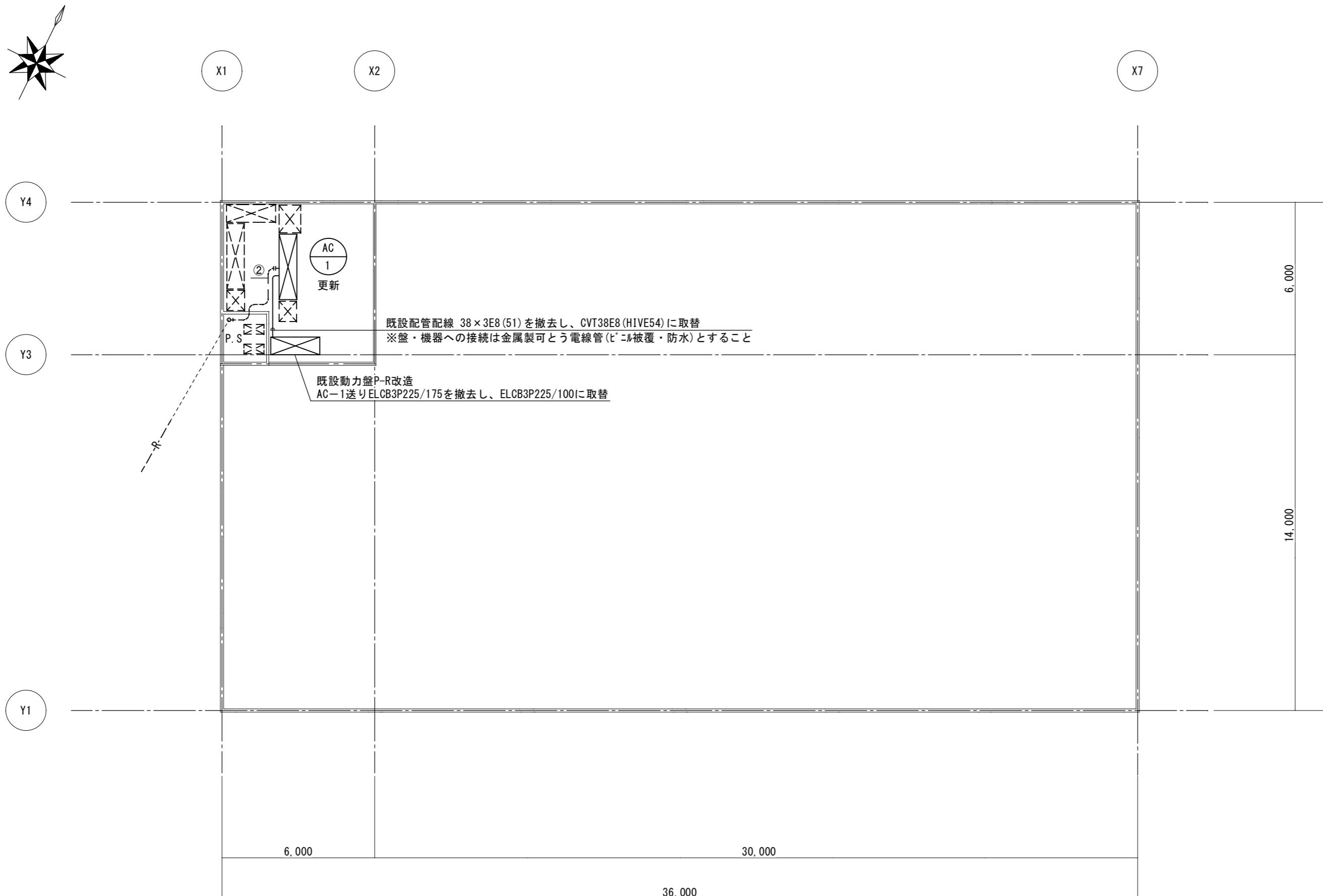
| 凡例 | |
|---------------|----------------------|
| 新設配管 | |
| 現状維持配管 | |
| 現状配管・新設配管接続部分 | |
| R | 冷媒管 |
| D | ドレン管 |
| // | リモコン配線 (CVVS1.25-2C) |
| R | リモコン |
| □ | 既設天井点検口 |

| 冷媒管リスト | | | |
|--------|-------|-------|-------------|
| 記号 | 液管 | ガス管 | 室内外連絡線 |
| ① | φ9.5 | φ15.9 | CVVS1.25-2C |
| ② | φ19.1 | φ38.1 | CVVS1.25-2C |

空調用保温付被覆銅管
保温厚 液管 : 10mm (ただし、φ10未満は8mm)
ガス管 : 20mm

| 空調設備改設工事要領 | |
|------------|--|
| 1. | 空調室内外機の撤去新設をおこなう。 |
| 2. | 室外機はSUS製ボルトにて固定、Wナットにて締付けの事。アンカ-はケミカルアンカ-仕様。 |
| 3. | 冷媒管、室内外連絡線、リモコン制御線は既設利用とする。 |
| 4. | ドレン管は撤去した機器に接続されていた既設配管に接続する。 |
| 5. | ドレン管は切離し後、新設機器接続まで養生しておくこと。 |
| 6. | 既設のワイヤードリモコンを撤去し、新設する。 |

| 津市白山庁舎空調設備改修工事 | | 縮尺 1/150 |
|----------------|--------------|-------------|
| 図面名称 | 1階平面図・凡例・機器表 | 原図：A2 |
| 津市建設部営繕課 | | No. 2/3 |



| 凡例 | |
|-----------|----------------------|
| ——— | 新設配管 |
| - - - - - | 現状維持配管 |
| - - + - - | 現状配管・新設配管接続部分 |
| —— R —— | 冷媒管 |
| —— D —— | ドレン管 |
| —— # —— | リモコン配線 (CVVS1.25-2C) |
| [R] | リモコン |
| [D] | 既設天井点検口 |

| 冷媒管リスト | | | |
|--------|--------|--------|-------------|
| 記号 | 液管 | ガス管 | 室内外連絡線 |
| ① | φ 9.5 | φ 15.9 | CVVS1.25-2C |
| ② | φ 19.1 | φ 38.1 | CVVS1.25-2C |

空調用保温付被覆銅管
保温厚 液管 : 10mm (ただし、φ10未満は8mm)
ガス管 : 20mm

屋上平面図 S=1/150

| | | |
|----------------|----------|-------------|
| 津市白山庁舎空調設備改修工事 | | 縮尺 1/150 |
| 図面名稱 | 屋上平面図・凡例 | 原図: A 2 |
| 津市建設部當緒課 | | No. 3/3 |